

衣類のお手入れ通信

うろこ雲、いわし雲、さば雲、ひつじ雲、いずれも同じ雲の呼び名です。澄んだ高い空に浮かぶ無数の小さな雲のことで、秋の季語としても親しまれています。正式には巻積雲（けんせきうん）と呼ばれ、台風や低気圧接近の前に現れます。「女心と秋の空」ともいいますね。秋の雲は、季節や天候の変化を教えてください。

【落ちないシミの正体とは？】

「つけた覚えがないシミを洗濯したが、まったく落ちる気配がない」こんな経験はありませんか？実は汚れやシミではないのに、シミに見えてしまうことがあるのです。今回は代表的な2つのケースをご紹介します。

1. <服の縫い代や、胸ポケットの隅に黒いシミ？>

特に白地のブラウスやシャツによく見られる現象です。これは服を製造するときに、ほこりや繊維の切りクズが縫い代の間に閉じ込められ、それが着用や洗濯を繰り返すことによって一ヶ所に集まり、シミに見えてしまうというものです。ポケットの隅にも同じような現象が見られますが、シミなのかどうかの見分け方は簡単です。そのシミに見える部分に水を一滴たらしめてみてください。最初は薄黒く見える部分が、くっきり鮮明に濃く見えるようになればシミではなく、ほこりの塊だと判断できます。シミではないので、こすっても落ちることはありません。逆に生地を傷めてしまうので注意してください。

2. <点々といくつか斑点状に見えるシミ？>

「ウォータースポット」と呼ばれる現象です。にわか雨に一瞬濡れたときなど、繊維に不均一に水がかかった場合に起こります。シルク、レーヨン、光沢感のある繊維、起毛製品などが水に濡れることで繊維自体が膨潤したり、毛並みが乱れて光の陰影が均一でなくなったりするためにシミのように見えるのです。ウォータースポットかどうかは、向きを変えて2か所から見ると一目瞭然です。片方からは濃く見えるのに、反対側から見ると色が薄く見えます。シミならばどの角度からでも色の濃さは同じに見えます。ウォータースポットは繊維に不均一に水がかかったことが原因なので直し方は簡単です。家庭洗濯可能なものなら桶などに水を入れてその中で服を均一に濡らし、あとは軽く絞って干せば直ります。**家庭で不可能な場合は、私ども専門家にお任せいただければ簡単に除去できます。どうぞご安心ください。**

定休日：日曜日・祝日

営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田 1-6 TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博 愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。